

鳥取縣公報

昭和十八年四月六日
第千四百二十二號

火曜

本書ノ大キサハ國定規格A5判

目次

- 訓令
防空監視隊表彰規程制定……………一頁
- 告示
鳥取縣中小商工業再編成協議會規程中改正……………九頁
- 鮮魚介出荷計畫承認……………九頁
- 鳥取縣臨時負債處理委員會委員選任……………一〇頁
- 同 解任……………一〇頁
- 耕地整理組合長同副長選任……………一〇頁
- 被保險者證中無効……………一〇頁
- 産婆名簿登錄者……………一頁
- 彙報
麻類栽培の要點……………一頁
- 其の他……………一六頁

訓令

◆鳥取縣訓令甲第八號

警察部
警察署
防空監視隊

防空監視隊表彰規程左ノ通定ム

昭和十八年四月六日

鳥取縣知事 土肥米之

防空監視隊表彰規程

- 第一條 防空監視隊ノ表彰ハ本規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 防空監視隊本部又ハ防空監視哨ニシテ防空監視並ニ通信ノ成績優秀ニシテ他ノ模範タルモノニハ別記第一號様式ノ表彰狀ヲ授與ス
- 第三條 防空監視隊員ノ表彰ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ行フ

00880

一 感狀 (別記第二號様式)
 防空監視並ニ通信ニ關シ拔群ノ功勞アリタル者
 二 表彰狀 (別記第三號様式ノ一、二、三)
 イ 規律嚴正勤務勉勵防空監視並ニ通信ニ關スル技能ニ熟達シ成績優秀ニシテ精勤證書ヲ有スル者
 ロ 防空監視通信ノ改善向上ニ關シ功勞顯著ナル者
 ハ 其ノ他特ニ賞揚スベキ善行美舉アリタル者
 三 精勤證書 (別記第四號様式)
 三年以上勤續シ操行善良勤務勉勵ニシテ防空監視並ニ通信ニ關スル技能ニ熟達シ成績優良ナル者
 四 感謝狀 (別記第五號様式)
 三年以上勤續シ退職シタル者但シ在職中特ニ功勞アリタル者ト認ムルトキハ三年未滿ノ者ト雖モ授與スルコトアルベシ
 第四條 前條第一號乃至第三號ノ表彰ヲ受ケタル者ニ對シテハ別記第六號乃至第八號様式ニ依ル徽章ヲ授與ス
 第五條 徽章ハ制服左胸部ニ佩用スルモノトス
 數種ノ徽章ヲ佩用スルトキハ左ノ順位ニ依ルモノトス

一 感狀ニ依ル徽章
 二 表彰狀ニ依ル徽章
 三 精勤證書ニ依ル徽章
 第六條 三年以上勤續シ功勞アリタル防空監視隊員退職スル場合ハ左ノ標準ニ依リ記念品ヲ交付スルコトヲ得
 一 防空監視隊長同副隊長 拾五圓以内
 二 監視哨長同副哨長 拾圓以内
 三 其ノ他ノ防空監視隊員 五圓以内
 第七條 本規程ニ依ル表彰ハ知事之ヲ行フ
 第八條 第三條第一號又ハ同第二號ノ表彰ヲ受ケタル者其ノ職責ニ反シ又ハ防空監視隊員タル名譽ヲ汚損シ其ノ他不都合ノ所爲アリテ解職セラレタルトキハ表彰ヲ褫奪スルコトアルベシ
 第九條 警察署長本規程ニ依リ表彰ヲ要スト認ムル者アリタルトキハ各其ノ事由ヲ具シ知事ニ進達スベシ

00881

第一號様式




表 彰 狀

防空監視通信ノ成績優秀ニシテ他ノ模範タリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

昭和 年 月 日

鳥取縣知事 位階 氏 名 印


表 彰 狀

防空監視通信ノ成績優秀ニシテ他ノ模範タリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

昭和 年 月 日

鳥取縣知事 位階 氏 名 印

第二號様式



感 狀

右者.....

ノ功勞拔群ニシテ一般ノ模範タリ仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和 年 月 日

鳥取縣知事 位階 氏 名 印

感 狀

右者.....

ノ功勞拔群ニシテ一般ノ模範タリ仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和 年 月 日

鳥取縣知事 位階 氏 名 印

00882

第三號様式ノ一

鳥取縣公報 第千四百二十二號 昭和十八年四月六日

(第三種郵便物認可)

四

表彰狀

右者規律嚴正勤務
 勉勵防空監視通信
 技能ニ熟達シ一般
 ノ模範タリ仍テ茲
 ニ之ヲ表彰ス

昭和 年 月 日

鳥取縣知事位階勳等 氏 名 印

00883

第三號様式ノ三

表彰狀

右者

一般ノ模範タリ仍
 テ之ヲ表彰ス

昭和 年 月 日

鳥取縣知事位階勳等 氏 名 印

表彰狀

右者

功勞顯著ナリ仍テ
 茲ニ之ヲ表彰ス

昭和 年 月 日

鳥取縣知事位階勳等 氏 名 印

第四號様式

精勤證書

右者規律嚴正勤務
 勉勵防空監視通信
 技能ニ熟達ス仍テ
 茲ニ之ヲ表彰ス

昭和 年 月 日

鳥取縣知事位階勳等 氏 名 印

鳥取縣公報 第十四〇一

昭和十八年四月六日

(第三種郵便物認可)

五

感謝狀

右者防空監視通信
業務ニ從事シ國土
防衛上貢獻スル所
尠カラズ仍テ茲ニ
感謝ノ意ヲ表ス

昭和 年 月 日

鳥取縣知事 位階 勳等 氏 名 印



第六號樣式

功勞章



形狀 寸法 地色 文鳳 鳳文 徽章

圖示ノ通り 三十五耗 銀色艶消 銀色磨 櫻花縁及飛行機ハ 銀磨 地ハ銀艶消



00886

第七號樣式
表彰徽章

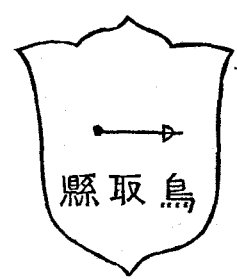
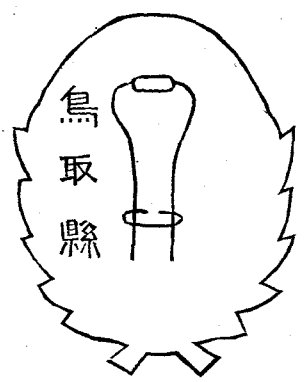


形狀 圖示ノ通り
寸法 縱三十五耗 橫二十六耗
地色 銀色艶消
構樹字 銀色磨
交字 銀色磨
星字 功勞章徽章ニ同ジ

第八號樣式
精勤章



形狀 圖示ノ如シ
寸法 縱三十三耗 橫二十三耗
地色 銀色艶消
文字 銀色磨
徽章 功勞章徽章ニ同ジ



00887

告示

鳥取縣告示第百七十四號

鳥取縣中小商工業再編成協議會規程中左ノ通告正ス
昭和十八年四月六日

鳥取縣知事 土肥米之

第七條第二項中「會長ノ指名スル委員及」ヲ「會長ノ命ズル委員及幹事並ニ」ニ改ム

第十一條中「會長」ヲ「知事」ニ改ム
第十六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

「第十六條ノ二 部會ニ部會幹事ヲ置ク
部會幹事ハ幹事又ハ書記ノ中ヨリ會長之ヲ命ジ必要アル場合ハ關係官公吏、工業組合中央會鳥取縣支部、商業組合中央會鳥取縣支部職員又ハ鳥取縣商業報國會本部推進隊關係者中ヨリ知事之ヲ命ジ又ハ委囑ス」

第十七條中「本規程第十條乃至第十六條ノ規程」ヲ「本規程第十二條及第十五條ノ規定」ニ改メ「又ハ部會長」ヲ削ル

鳥取縣告示第百七十五號

鮮魚介配給統制規則第三條第一項ノ規定ニ依リ左記鮮魚介出荷統制組合ニ對シ昭和十八年度第二期分(四月、五月、六月)出荷計畫ヲ承認セリ
昭和十八年四月六日

鳥取縣知事 土肥米之

一 鳥取市賀露町	賀露鮮魚介出荷統制組合
一 岩美郡東村	東村 同
一 同 浦富町	浦富町 同
一 同 田後村	田後村 同
一 同 網代村	網代村 同
一 同 大岩村	大岩村 同
一 同 福部村	福部村 同
一 氣高郡酒津村	酒津村 同
一 同 青谷町	青谷町 同
一 同 東伯郡泊村	泊村 同
一 同 赤碕町	赤碕町 同

00888

一 西伯郡御來屋町 汗 東 同
一同 淀江町 汗 西 同

◇鳥取縣告示第百七十六號

鳥取縣臨時負債處理委員會委員ニ左ノ者ヲ選任セリ

昭和十八年四月六日

鳥取縣知事 土肥 米之
伊藤 正 良
鈴木 義 太

◇鳥取縣告示第百七十七號

左ノ者鳥取縣臨時負債處理委員會委員ヲ解任セリ

昭和十八年四月六日

鳥取縣知事 土肥 米之
松澤 美雄 島村 軍次 大和田 彌一
上島 政聲 石崎 常夫 松島 淳
岡本 春藏 淺井 益三

◇鳥取縣告示第百七十八號

八頭郡佐治村大井耕地整理組合長同副長左ノ通選任ノ件認可セリ
昭和十八年四月六日

鳥取縣知事 土肥 米之

八頭郡佐治村大字刈地

組合長 下田 春太郎
同郡同村大字同 組合副長 鍵 本 益 藏

◇鳥取縣告示第百七十九號

健康保險法施行規則第三十二條ニ依リ交付シタル被保險者
證中左ノモノハ之ヲ無効トス

昭和十八年四月六日

鳥取縣知事 土肥 米之
被保險者證 被保險者 工場事業場又ハ
記號番號 氏名 事務所所在地 無効トナリ
日をに 七〇長尾己幸 大阪特殊製鋼株式會社 陽電鐵株式會社
米はい 一一後藤忠義 事務所所在地 タル年月日 一八、三、一〇

00889

岩しい 七三山脇岩夫 昭和鐵業株式會社 一八、二、一七
職鳥とろ 四〇松岡孝枝 有限責任鳥取昭 一八、三、一〇
鳥につ 二〇九渡邊國藏 和信用組合 一八、二、二七
岩い 一八二九田口勝美 日本通運株式會社 一八、二、二八
日本鐵業株式會社 一八、二、二八
社岩美鐵山

◇鳥取縣告示第百八十號

產婆名簿登錄者左ノ如シ

昭和十八年四月六日

鳥取縣知事 土肥 米之

本籍 鳥取縣西伯郡富益村五六四番地
住所 全 上

昭和十八年三月十三日登錄 角 富子
第 八 八 七 七 號
大正十一年三月四日生

彙報

麻類栽培の要點

纖維資源の増産確保へ

時局の進展と共に纖維資材の需要は刻々増大し、特に麻類の費途は近時急激な膨脹を見つゝあるので、こゝにこれら播種期に向ふ大麻、苧麻、黃麻の栽培法について概要を記すこととする。各適地を考へてこの栽培に拍車をかけて貰ひたい。

(一) 大 麻 (たいま)

性 状 一年生で草丈は一丈内外に達し、雌雄異株である。疏植すれば分枝が多くなり、密植すれば梢のみ分枝する。成熟期に入れば刈取つて纖維の製造をするのであつて用途は頗る多い。

品 種

嚴密な意味ではないが白木型と赤木型とに分けられる。白木型は早生で纖維は細く美しく、白色光澤がある。赤木型は稍々晩熟であつて、纖維は褐色を帯びて多少粗剛であるが強靱である。

00890

適地

生長期間は高温多湿であつて、成熟期に稍々乾燥することが望ましい。生育中に強い風の吹くことは最も忌むところである。土質は排水がよく耕土の深い砂壤土、礫に富む粘土、礫を含む壤土などがよい。

整地

土地を耕起して土塊を碎き、表面を均して七―八寸巾の畦巾を以て作條を切り、その中央に播種する。

播種

適期は三月下旬から四月上旬までであるが、降霜の虞れがある場合は多少播種期を遅くする。厚蒔するに従つて分枝が少く細長となるが、過度に厚くすることは危険でかへつて収量が少くなる。大体播種量は條蒔で反當四―五升、撒播で七―八升位である。

播種の方法は畦巾七―八寸の作條を切つて其の中に條蒔するのであるが、種播器を用ひると厚薄はなく一様に蒔くことが出来る。種子を蒔溝へ落して基肥を施し、五―六分の厚さに覆土する。そして覆土した上に粗穀か麥稈などを薄く撒いて覆をするよ。

肥料

窒素の適量は二貫乃至四貫、磷酸並に加里は各一貫乃至一貫五百匁位である。窒素肥料は魚肥鶏糞油粕類が最もよいが、収量を増す爲には人糞尿や

硫酸の施用が必要であるから、これらを適宜配合して肥料を不足せしめぬやうにせねばならぬ。又堆厩肥の効果は大であるから、反當二百五十貫乃至三百貫を施し、その他過磷酸石灰・草木灰等も施用する。反當施肥例を示すと次の如くである。

堆肥	二五〇貫
大豆粕又は魚肥	一〇
硫酸	五
草木灰	一〇

追肥 第一回間引の際に施用す

管理

發芽後二週間で草丈二寸位となるから、第一回間引を行ひ中耕をする。第二回間引は第一回後十日位、その後一週間置に第三回第四回を行ふ。草丈が二―三尺に伸びる頃までに終了しなければならぬが、その間隔は二寸内外である。

病虫害

夜盗蟲は葉を喰害するから、砒酸鉛を二―三回撒布する。螟蟲は窒素肥料を多用する場合に多く、防除法は刈株を土中に埋めるか、又は焼却して發生を防ぎ、尙五月中下旬の候に葉の表面にある卵塊を採取する。

收穫

播種より百十日内外で熟期に達するがそれは

00891

七月中下旬である。收穫の方法には根元より刈取る場合と抜取る方法とがある。土質の如何に依つて方法を決定し能率を挙げなければならぬ。

麻莖は十五―六本を一握として束にし、根及び葉を切断して長さを揃へ、直径七寸位の小束として結束し、これを酸酵法又は熱湯浸漬法によつて纖維を製造するのである。

採種

收穫の際に畑の周邊にある莖で粗大且分枝のない株を残して置き、開花後雌株を除去して雌株を結實させる。十月下既頃に成熟するからこれから種子を取り、充分乾燥して後精選して種子用とする。

(二) 苧麻 (ちよま)

根から澤山の株を出し、幹の高さは四尺乃至九尺に伸びるが普通は七―八尺である。莖の基部は直径五分位である。刈取つて纖維製造をなし用途は頗る多い。

品種

臺灣白皮種、細莖青心種が主なものである。いづれも本縣に適してゐる。氣温高く暴風被害の少い場所が適宜してゐる。

土質は乾燥地帯を避けるがよい。表土が深く排がの可良な壤土又は砂壤土がよい。

蕃殖法

主な蕃殖法は吸枝蕃殖法であつて分根法とも呼ばれる。三月頃には苧麻畑(植付後三年以上)のものを持ち起し、苧麻株にある吸枝(匍匐してゐる莖)を掘り取つて四―五寸の長さに切断してこれを苗とする。直径二分五厘乃至三分位のもの適當である。一反歩の植付本数は四千五百本乃至六千本位である。

三月中下旬頃圃場を深耕して畦巾二尺内外の中央に深さ三―四寸の溝を作り、これに基肥を撒布して間土を置いて株間七―八寸の距離に吸枝を地面に平行に並べ、その上に一寸位覆土する。かうして置くと吸枝から發芽して、その後肥料や管理を充分にすれば三年目には普通の苧麻畑となる。

肥料

肥料はなるべく多く施すべきである。特に必要なのは窒素と加里で、厩肥や堆肥の効用は殊に顯著であるから必ず施用しなければならぬ。

施肥の一例

肥料はなるべく多く施すべきである。特に必要なのは窒素と加里で、厩肥や堆肥の効用は殊に顯著であるから必ず施用しなければならぬ。

00892

▲植付初年目

- 1 整地前堆肥五〇〇貫鋤込むこと
- 2 植付に際し基肥として腐熟堆肥反當二〇〇貫、魚肥又は大豆粕一五貫、人糞尿一五〇貫、草木灰一五貫を施す
- 3 六月中下旬人糞尿一五〇貫追肥
- 4 十一月下旬藁屑又は中熟堆肥二〇〇—三〇〇貫を覆ふ

▲植付二年目

- 1 春萌芽前、反當堆肥二〇〇貫、魚肥又は大豆粕一五貫、人糞尿一五〇貫、草木灰一五貫を施す
- 2 一番刈直後人糞尿反當二〇〇貫又は硫酸七貫を施す
- 3 十一月下旬藁屑又は中熟堆肥反當三〇〇貫を施す

▲植付三年目以降 二年目に準ずる

植付四年目位の畑に於ける必要成分の標準は一年間窒素四貫、燐酸一貫五百匁、加里五―六貫であるから、肥料不

足とならぬやうにせねばならぬ。生莖を收穫して纖維を調製した後の残渣を全部畑に還元すれば、二年目以降は約八百貫の堆肥と同様の効果があるから、堆肥として施す量の大部分は自給自足出来るわけである。

管理

植付けてからは發芽に注意して缺株があつたら必ず補植せねばならぬ。植付初年目は雜草が繁茂するから除草に努め、一番芽は全部刈倒して二番芽を一齊に萌芽させること、二年目以降は株もよく充實し、除草も省略出來て管理は殆ど要しない。

病蟲害

フクラスメ幼蟲の被害は硫酸鉛二〇匁を水一斗に溶解して撒布する。

刈取

收穫の適期になると生育が停止して下部の表皮が褐色に變じ、下葉が落ちて葉全体が成熟の徴候を呈するから、この時なるべく根元から刈取る。

收穫期は第一回七月中旬、第二回九月中旬を標準とする第三回は伸長甚だ短い、第二回收穫後一ヶ月半乃至二ヶ月が時期である。

剝皮

剝皮機を使用する。石井式、池田式等がある

00893

刈取つた生莖の葉を打落して長短に選別し、根元を持つて一握りづゝ剝皮機にかけて剝皮する。採取した纖維は竹竿にかけてよく引伸し、晴天に二日位陽乾して所定の荷造をするのである。

(三) 黄 麻 (いちび)

一年生であつて草丈は五尺乃至一丈に達し、莖の直径は三―四分が普通である。成熟期に刈取つて纖維の製造をする。用途は甚だ多い。

品 種

大別して青皮系と紅皮系に分けられる。近來臺灣から移入したものに優良な系統が多い。

適 地

生育中高温で降雨が多く、空中湿度の高いところが望ましい。土質は乾燥地帯の瘠地を除く外、普通の畑地なら何れの場所でもよく生育する。殊に早天の際灌水の出来る所がよい。

整 地

五月中旬乃至六月上旬に耕起して細碎した後一尺五寸内外の畦中に中五寸深さ一寸の播溝を作る。

播 種

適期は五月中旬から六月中旬までであるが成るべく早い方がよい。播種量は普通種子なら反當六合位、播種前に發芽試験を行つて其の發芽歩合によつて播種量を加減する必要がある。

播種の方法は播種量の四―五倍の土を篩でふるつてこれに種子を混じて少量の水を加へてよく混合した後播種する種子を温湯浸漬又はウスプルン消毒を行へば炭疽病豫防に効果がある。播種に際しては作條に基肥(主として薄い人糞尿)を施し、その上に丁寧に條播して二―三分の深さに覆土し踏壓するのであるが、出來得れば覆土した上に穀殼麥稈等を薄く撒いて覆をして置く。

肥 料

窒素を主とし、これに多少の燐酸及加里を添加するのである。

施 肥 例

例一	堆 肥	二五〇貫	基 肥
	過燐酸	六	基 肥
	人糞尿	一五〇	基 肥
	硫 安	一〇	二番肥五貫

草木灰 一五 一番肥
例二堆肥 三〇〇貫

人糞尿 四〇〇 基肥一〇〇貫
一番肥一五〇貫
二番肥一五〇貫

追肥は第一回第二回間引中耕の際の二回に分施する
管理 發芽後二週間位に第一回、その後十日目位に
第二回の間引及び中耕を行ひ、同時に追肥を

施し培土を行ふ。第一回の間引は本葉三―四枚の頃で、葉と葉が接觸しない程度に間引く。第二回はこれより十日目位に行ひ、この時は三寸間隔位の千鳥形に間引くのである。莖はなるべく細く生長させることが必要であるが、これが爲には或る程度まで密立させ、間引等も過度に疏立せしめて過大莖を生じないやうにする。そして草丈二―三尺位になつた頃更に一回培土を行ふ。

病蟲害

白絹病と黒斑病とが被害が大である。驅除法としては四斗式ポルドー液を撒布する。

收穫及調製

收穫の適期は全圃開花中で二―三個の結實を見る頃である。生育日數は早生種で

九十日乃至百日、晩熟種で百二十日内外であつて、丁度八月下旬から九月下旬迄の間に當る。
纖維の採取は手剥ぎが備來行はれてゐたが、剥皮機によれば能率的である。刈取は晴天の日に土際から刈倒して剥皮を行ふのであるが、手剥ぎは生莖の基部から一尺位のところを手で折つて、木質部と皮部とを剝離する。そして剥皮した纖維は野外で乾燥して荷作り販賣するのである。

昭和十八年四月六日印刷
昭和十八年四月六日發行

發行所 鳥取縣鳥取市東町
鳥取縣鳥取市吉方町
鳥取縣鳥取市田印印刷所
印刷所(西島19)